

## 公開保育による施設関係者評価

日 時 令和5年1月27日(月) 午前9時30分～午前12時

会 場 認定こども園みのり

内 容 各園の職員に対して公開保育を行い、当園の評価をして頂く。

案内形式ではなく、それぞれ分かれてクラスに入り、保育観察を2時間程度して頂く。

施設関係者に評価を行って頂き、評価をまとめて頂く

ねらい 教育・保育要領のこども園における教育及び保育の基本にもあるように、「子ども一人一人が主体的に、そして、友達と共同して遊びが豊かに展開できているのか」をねらいとし、年齢に応じた実践を主眼とおく。

評価者 あさひこども園(園長、主幹保育教諭)

志津保育園(園長、乳児専門リーダー、幼児教室専門リーダー)

星の子保育園(園長、副主幹保育教諭)

事務局(みのり職員1名)

評 価 みのり保育園を見学し主体性を育む保育を大切にされていて、室内遊びや戸外遊びなど子どもたちが自分たちのしたい遊びを自分たちで選び、のびのびと意欲的に遊ぶ姿がとても印象的であった。戸外では異年齢児が遊んでいたが、遊びの中でルールがありそのルールを保育者がサポートしながら子どもたちもしっかり守る事で安全に遊ぶ事ができていた。以上児クラスでは各年齢において子どもたちの声や思いにそったごっこ遊びが展開されており遊びに必要な道具が保育者や子どもたちによって作られていて、遊びたいという意欲が引き出されたり子どもたちがどのように遊んでいるかイメージできる環境が整っていた。また、カプラやラキューなど作った物を残しておける場所があったり、できた作品を子どもたちがカメラで撮りテラスに飾られるなど作品を大切にする気持ちの育ちや遊びの保障があり様々な面で環境が整っていて素敵だなと感じた。食育に関する取り組みもされていて、しょうゆや味噌をグループごとに作り、それらに関する情報として誰もが見られるように絵本がテラスに一緒に飾られていたり、給食の献立表を子どもたちが確認しやすい場所に置き、元気な体を作る仲間、病気から守ってくれる仲間、強い力が出る仲間、料理の味を美味しくしてくれる仲間の4つの働きに分ける事ができるようになっていたり子どもたちの経験や知識につながる良い体験であると思った。0歳から各年齢に合わせて10の姿をふまえ就学までに育てる事ができるよう日々の保育の中で

子どもたちと関わっている事を保護者の方にも掲示して伝えておられて、具体的な姿の写真とどんな姿が育っているのか保護者の方と共有する事で子どもたちの育ちを一緒に促していく事ができると感じた。未満児クラスでは手作り玩具が本物に近く細かい所まで再現して作られていたり棚の上などを利用した環境の工夫も沢山見られた。子どもたちの人数も多く職員の数も多いがとてもよく連携されていていて今回見学をした事で保育の考え方をみつめ直す良い学びの場となった。学んだ事をもとにできる事から保育に取り入れ役立てていきたいと共に食育を特色としておられるので今後の更なる発展に期待したい。

総 評 本年度もコロナ渦ではあったが、基本的な感染対策を行いながら、一人一人の子どもが興味関心を持った遊びがそれぞれでき、4・5歳児は友達と一緒に遊びを豊かに広げる姿が多くあった。また、子どもの遊んだ作品は保育室や園内に飾ることにより、友達の作品を見て、そこから会話が広がり、遊びが新に広がっていた。保護者にとっても園での子どもの遊びを知る機会にもなった。園外保育は、三上山登山、彦根城ツアーなど、子どもがワクワクするような園外、子どもをつぶやきを形にするなど多く入れることができた。

デイサービス湯楽里の高齢者との交流は、ハロウィンとクリスマスはそれぞれ変装してプレゼントをもらうなど交流が少しできたが、回数が少なかったので来年度は回数を増やして、自然な交流ができるようにしたい。

公開保育を通して様々な意見をいただくことで、気づけなかったことが気づけることがあるので来年度も公開保育を行いたい

結 果 当園のホームページに掲載する